

## 資料No. 4

(個人インタビュー) 2021.1.27

ファム ビン ミン さん(ベトナム人男性、30歳) 2015-2017年伊賀市在住  
2021年1月に技術・人文知識・国際業務の技術ビザで再来日し、茨城県内の工場に就労。

伊賀市で住んでいた当時の生活の様子と、彼のライフストーリーについてインタビューを行いました。

**Q1. 嬉しかったこと、日本に来てよかったことなどについて**

新しい友達が出来ました。日本人がやさしかったです。

**Q2. 差別事象はありましたか。**

外国人の差別があった。

日本人が話していることが分からない頃、何か悪いことを言われているように感じた。

**Q3. 伊賀市の多文化についてどのように思いますか。**

伊賀市には、いろいろな国の外国人が住んでいました。

伊賀日本語の会、国際交流会のフェスタに参加できた経験が良かったです。

**Q4. 日本人とのコミュニケーションで難しいこと、気を付けていることがあれば教えてください。**

日本人と話しをするのは、難しかったです。話し方が早かった。何回も聞くのが恥ずかしかった。たまに分からなくても、【わかりました】と言ってしまったことがありました。

**Q5. ベトナム以外の外国人との交流がありましたか。どうやって交流しましたか。**

ブラジル人の友達がいきました。やさしい日本語で話しをしました。

**Q6. ベトナム人コミュニティ(情報交換)はありましたか。**

ベトナムの友達と Facebook で連絡していました。

【ミンさん自身について】ベトナム人男性、30歳

1. 家族構成：4人【父、母：59歳、農業、お姉さん：38歳(台湾で就労していました。)]
2. 子どもの時はどんな生活をしていたか。ふるさと：田舎、生活は大変だった。
3. 学校生活、家族の生活の事。小学校、中学校：学校まで歩くで(5km)。高校：自転車で。大学(50km)：バス、バイクで。生活は大変だったけど、お姉さんが頑張って働いて、学費を払ってくれた。
4. 大学に行った理由、将来の夢。家族の生活を変えたかった。卒業後いい仕事に就きたかった。
5. 日本についてどう思っていたか。テクノロジーや技術がすごいです。
6. ベトナムでの就職活動と仕事の経験。卒業後、仕事を探すことが難しかった。技能実習生と

して日本のLIXIL で働いたのが初めて。帰国し、ベトナムのLIXIL でも働いた経験がある。収入は日本よりも低かった。

7. 日本は働きに来る動機、きっかけ。仕事の経験やテクノロジーや日本の技術を勉強したかったから。
8. 日本での生活はどうだったか。不安なこと：日本語があまり分からなかった。良かったこと：日本語の会で日本語を勉強しました。先生がやさしかったです。期待していたこと：日本の生活が良かったです。期待外れだったこと：日本の冬は寒かったです。差別のこと：外国人の差別がありました。
9. どんな思い出がありますか。富士山に登山したこと、東京へ遊びに行ったこと。
10. ベトナムに帰国後、どのような生活をしていましたか。普通の生活に戻るために時間がかかりました。
11. 再入国（日本）して、これからの生活の不安など。両親の事が心配です。
12. 将来への希望。日本語が上手になりたいです。裕福な生活をしたい。